

					学科の学習成果 (◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)																	
学科のディプロマポリシー(学位授与方針)					A. 専門知識・技術			B. 問題解決能力			C. 科学的探究心			D. コミュニケーション能力		E. 専門職としての態度			F. 社会の一員としての態度			
学科のカリキュラム					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
科目番号	授業科目名	配当年次	必須	選択	基礎医学領域の知識を身につける。	理学療法専門領域の知識と技術を身につける。	習得した知識と技術を用いて、理学療法評価および治療を実践できる。	状況を整理して把握し、客観的な判断に基づき原因を考察することができる。	論理的思考に基づき解決策を立案することができる。	問題の解決に向け、積極的に行動することができる。	科学的根拠の構築の必要性を理解し、理学療法法の検証ができる。	探究心をもって生涯にわたり継続的学習ができる。	最新の情報を収集、理解できる能力を身につける。	専門職として必要とされる観る力、聴く(傾聴)力、伝える(指導力)力を身につける。	他の医療職と連携・協働することができる。強い責任感を持って自身の役割を担うことができる。	自分自身の行動を省察することができる。	理学療法士としての社会的責任を理解して行動できる。	自己決定の重要性を理解し、患者本位の理学療法が実践できる。	幅広い教養を身につける。	価値観の多様性を理解する。	他者の感情を察し、理解することができる。	グローバルな視点での考察力を身につける。
AW1101	基礎セミナー	1前	2		△			○	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
AW1103	基礎セミナーⅡ	1後	2		△			○	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
RL1101	解剖学A	1前	2		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	○	△	△	○	○	△
RL1102	解剖学B	1前	2		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	○	△	△	○	○	△
RL1103	解剖学A実習	1後	1		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	○	△	△	○	○	△
RL1104	解剖学B実習	1後	1		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	○	△	△	○	○	△
RL1105	体表解剖学実習	1後	1		◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	△	○	○	△	△	○	◎	
RL1106	生理学	1後	2		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2101	運動生理学	2前	1		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2102	生理学実習	2前	1		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL1301	生化学	1前	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL1302	公衆衛生学	1後	2		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL1303	予防医学	1後	2		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2103	病理学	2前	1		◎	○	○	○	○	△	○	○	△	△	△				△			△
RL2301	薬理学	2前	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2104	内科学	2前	2		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2105	整形外科	2前	2		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2106	臨床神経学	2後	2		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2107	精神医学	2後	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2108	小児科学	2後	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL3301	救命・救急医学	3前	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL3302	老年医学	3後	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2109	リハビリテーション医学	2後	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL3303	臨床検査学	3前	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2302	画像診断学	2後	1		◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL1107	リハビリテーション概論	1前	1		◎	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
RL3304	社会福祉概論	3後	1		◎	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○
RL3305	ヘルスプロモーション論	3後	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
RL2303	国際医療事情	2前	1		△	△								○	○	◎	◎	△	◎	◎	○	◎
RL1108	臨床見学実習	1後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL1109	臨床見学実習指導	1後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL1110	理学療法概論	1前	1		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL1111	運動学	1後	1		◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	△	△
RL2110	運動学演習	2前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	△	○	○	○
RL2111	人間発達学	2後	1		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL2112	医療統計学	2後	1		◎	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△			○	△			
RL2113	専門セミナーⅠ	2前	1		○	○	○	◎	◎	○	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL2114	専門セミナーⅡ	2後	1		○	○	○	◎	◎	○	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
RL2115	機能障害診断学	2前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△
RL2116	機能障害診断学演習	2前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△
RL2117	活動制限診断学	2後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2118	活動制限診断学演習	2後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△
RL2119	生体工学評価論	2後	1		○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
RL3306	痛み学評価論	3後	1		○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○
RL3307	理学療法電気検査学	3後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○
RL3101	運動療法学A	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○
RL3102	運動療法学B	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○
RL3103	運動療法学C	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○
RL3104	運動療法学A演習	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
RL3105	運動療法学B演習	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
RL3106	運動療法学C演習	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○

					学科の学習成果 (◎＝学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○＝学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△＝学習成果を上げるために履修することが求められる科目)																	
学科のディプロマポリシー(学位授与方針)					A. 専門知識・技術			B. 問題解決能力			C. 科学的探究心			D. コミュニケーション能力		E. 専門職としての態度			F. 社会の一員としての態度			
学科のカリキュラム					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
科目番号	授業科目名	配当年次	必須	選択	基礎医学領域の知識を身につける。	理学療法専門領域の知識と技術を身につける。	習得した知識と技術を用いて、理学療法評価および治療を実践できる。	状況を整理して把握し、客観的な判断に基づき原因を考慮することができる。	論理的思考に基づき解決策を立案することができる。	問題の解決に向け、積極的に行動することができる。	科学的根拠の構築の必要性を理解し、理学療法の検証ができる。	探究心をもって生涯にわたり継続的学習ができる。	最新の情報を収集、理解できる能力を身につける。	専門職として必要とされる観る力、聴く(傾聴)力、伝える(指導力)力を身につける。	他の医療職と連携・協働することができる。強い責任感を持って自身の役割を担うことができる。	自分自身の行動を省察することができる。	理学療法士としての社会的責任を理解して行動できる。	自己決定の重要性を理解し、患者本位の理学療法が実践できる。	幅広い教養を身につける。	価値観の多様性を理解する。	他者の感情を察し、理解することができる。	グローバルな視点での考察力を身につける。
RL3107	発達障害学	3後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL2120	物理療法学	2後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL3108	物理療法学演習	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	△	○	○	
RL2121	日常生活活動学	2後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL3109	日常生活活動学演習	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	△	○	○	
RL3110	義肢装具学	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL3111	義肢装具学演習	3前	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	
RL2304	基礎運動療法学	2後		1	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	
RL2305	臨床運動療法学	2後		1	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL3308	脊椎疾患運動療法学特論	3後		1	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	
RL3112	地域理学療法学	3後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL3113	地域リハビリテーション演習	3後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	△	○	○	
RL2122	リハビリテーション環境論	2後	1		○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	
RL3114	臨床実習 I	3後	4		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	
RL4101	臨床実習 II	4前	6		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	
RL4102	臨床実習 III	4前	7		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	
RL3115	臨床実習指導 I	3後	1		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	
RL4103	臨床実習指導 II	4前	1		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	
RL4104	理学療法症例検討演習	4後	1		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	
RL4105	卒業研究	4後	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	○	△	○	○	○
RL3116	理学療法学研究法演習 I	3前	1		◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	△	○	○	○
RL3117	理学療法学研究法演習 II	3後	1		◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	△	○	○	○
RL4106	理学療法実践演習	4後	1		○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	△	○	○	○